

令和7年10月17日
伊予鉄バス株式会社
四国電力株式会社

日本初 EVバス「充電・運行管理システム」導入へ ～伊予鉄バスと四国電力がEVバス普及に向け実証成果を実装～

伊予鉄バス株式会社（以下、伊予鉄バス）と四国電力株式会社（以下、四国電力）では昨年8月より国土交通省「共創・MaaS実証プロジェクト」を活用し、EVバスの充電および運行最適化に向けた実証事業を行ってまいりました。

このたび、実証で得られた知見を基に、EVバスの充電に係るエネルギーコストの低減や運行管理の効率化を実現する「充電・運行管理システム」を導入いたします。

本システムは、EVバス普及に不可欠な機能を備えた、国内初の統合的な充電・運行管理システムであり、今後のEVバスの導入推進の大きな一歩となります。

1. 運用開始時期 2025年11月1日（予定）

2. 充電・運行管理システムの機能

- ・事業所の電力需要を考慮した充電の外部制御
- ・EVバスの運行計画を考慮した最適充電計画の自動策定
（充電器台数を上回る車両数にも対応）
- ・EVバスおよび充電器に関する走行・充電データの収集・デジタル管理
- ・収集データの可視化・分析、運行ダイヤへの反映

日本バス協会は、2030年までに全国で1万台のEVバス導入を目標として掲げています。こうした取り組みの中、伊予鉄バスは、本システムの利用を通じ、さらなるEVバス導入を推進し、公共交通の脱炭素化を加速してまいります。

四国電力は、本システムの提供を通じ、商用車の電動化を支援するとともに、将来的にはEVバスの蓄電池を電力市場における調整力として活用することを検討し、さらなるシステムの高度化を進めてまいります。

両社は今後、充電時に再生可能エネルギーを積極的に活用し、CO₂排出量削減を一層推進することで、2050年カーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

以 上